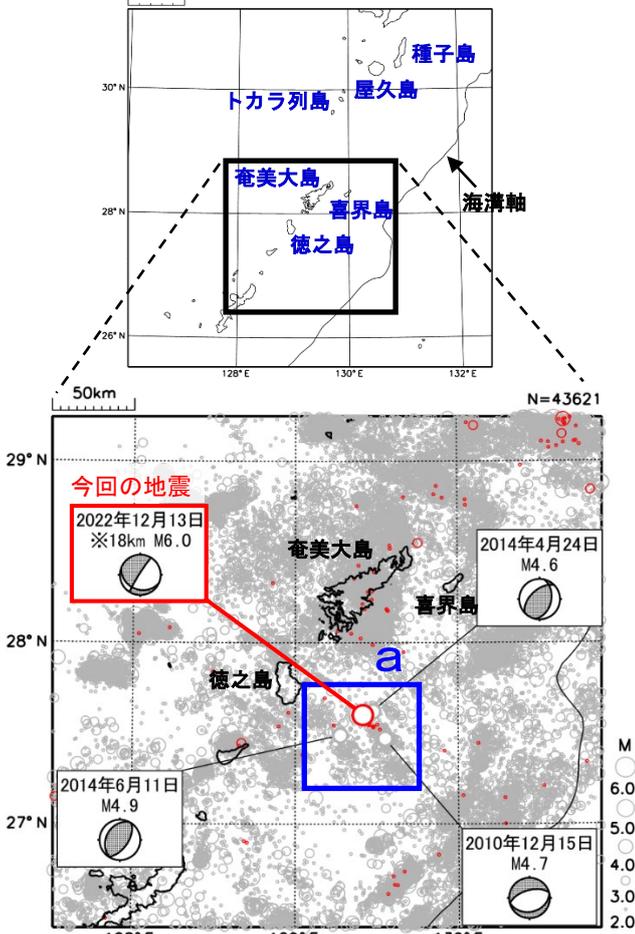


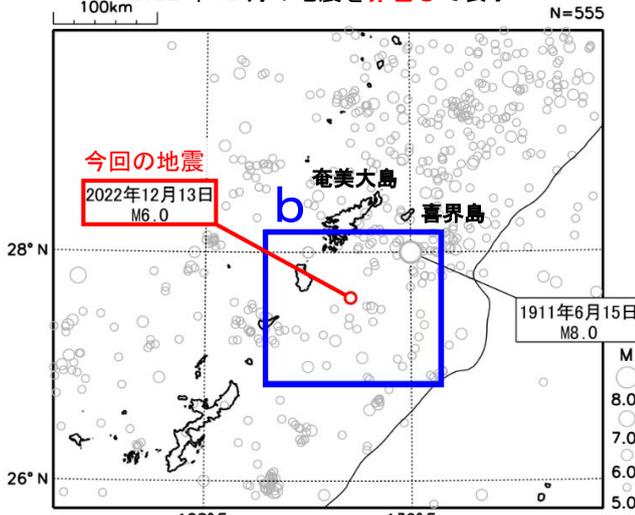
12月13日 奄美大島近海の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2022年12月31日、
深さ0～90km、 $M \geq 2.0$)
2022年12月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解



※の付いた地震の深さはCMT解による。

震央分布図
(1885年1月1日～2022年12月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)
2022年12月の地震を赤色○で表示



(震源要素は、1885年～1918年は茅野・宇津 (2001)、
宇津 (1982, 1985) による※)

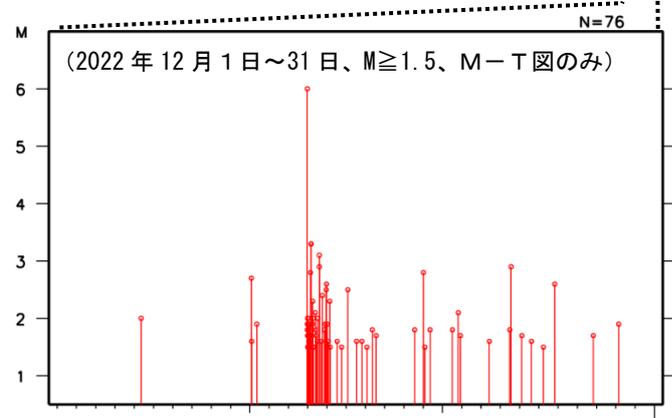
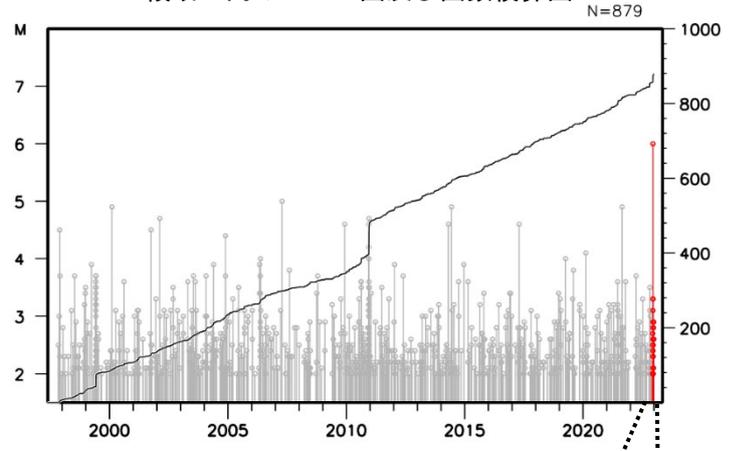
※宇津徳治 (1982) : 日本付近の $M6.0$ 以上の地震および被害地震の表 : 1885年～1980年, 震研彙報, 56, 401-463.
宇津徳治 (1985) : 日本付近の $M6.0$ 以上の地震および被害地震の表 : 1885年～1980年 (訂正と追加), 震研彙報, 60, 639-642.
茅野一郎・宇津徳治 (2001) : 日本の主な地震の表, 「地震の事典」第2版, 朝倉書店, 657pp.

2022年12月13日23時25分に奄美大島近海の深さ18km (CMT解による) で $M6.0$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は、東西方向に圧力軸を持つ型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域 a) では、 $M5$ 程度の地震は時々発生しているが、 $M6.0$ 以上の地震は発生していなかった。

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 b) では、 $M6.0$ 以上の地震が時々発生している。1911年6月15日には $M8.0$ の地震が発生し、死者7人、負傷者26人、住家全壊418棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



領域 b 内の M-T 図

